

平成20年11月27日
消 防 庁

「救助技術の高度化等検討会」の開催

近年、「JR 福知山線列車脱線事故（平成17年4月）」、「新潟県中越沖地震（平成19年7月）」、「岩手・宮城内陸地震（平成20年6月）」等に象徴される、大規模かつ複雑多様化した災害が発生しています。地震により倒壊したもしくは倒壊寸前の建物内や、脱線等により原型をとどめない程破損した列車内での救助活動は、常に救助隊員等に二次災害の危険が伴います。

このような二次災害の危険に対応するため、米国等においては「ショアリング（「支える」の意）」と呼ばれる倒壊建物等の安定化技術が実際の災害現場で活用されています。

今回、当該倒壊建物等の安定化技術を日本国内の災害現場で活用する可能性及びその運用方法等を検討し、救助活動における安全確保技術の高度化を図るため、「災害現場における倒壊建物等の安定化技術（ショアリング）について」をテーマとし、次のとおり検討会を開催することとしましたのでお知らせします。

1 メンバー

[別紙1](#)のとおり

2 スケジュール

平成20年12月4日（木）に第1回検討会を開催し、年度内に報告書を取りまとめる予定です。



<連絡先>

消防庁国民保護・防災部参事官付 坂野補佐 大久保係長

電話 03-5253-7507

FAX 03-5253-7576